



2022年3月期 決算説明会

2022年5月25日

株式会社ウィルグループ (東証プライム市場 6089)

目次

I .2022年3月期 実績

II .2023年3月期 通期業績予想、配当予想

III .中期経営計画(WILL-being 2023) 重点戦略の進捗

報告されている事業セグメントの会計処理方法について、従前は日本基準に一定の調整を反映した方法を採用していましたが、当社グループが定期的に検討を行うセグメント情報の見直しを行った結果、当第1四半期連結会計期間より、当社グループの会計方針と同一の方法に変更しています。この変更に伴い、前年同期との比較につきましては、変更後の数値で比較していません。

I .2022年3月期 実績

1

中期経営計画の経営目標である、営業利益、営業利益率目標は、1年前倒しでクリア。

2

Perm SHIFTにより売上総利益率は、直近3期の四半期ベースでは過去最高。通期ベースでは、上場以降過去最高。

3

財務指標目標のうち、親会社所有者帰属持分比率は、中期経営計画目標：20%を上回って進捗。

2022年3月期 業績ハイライト

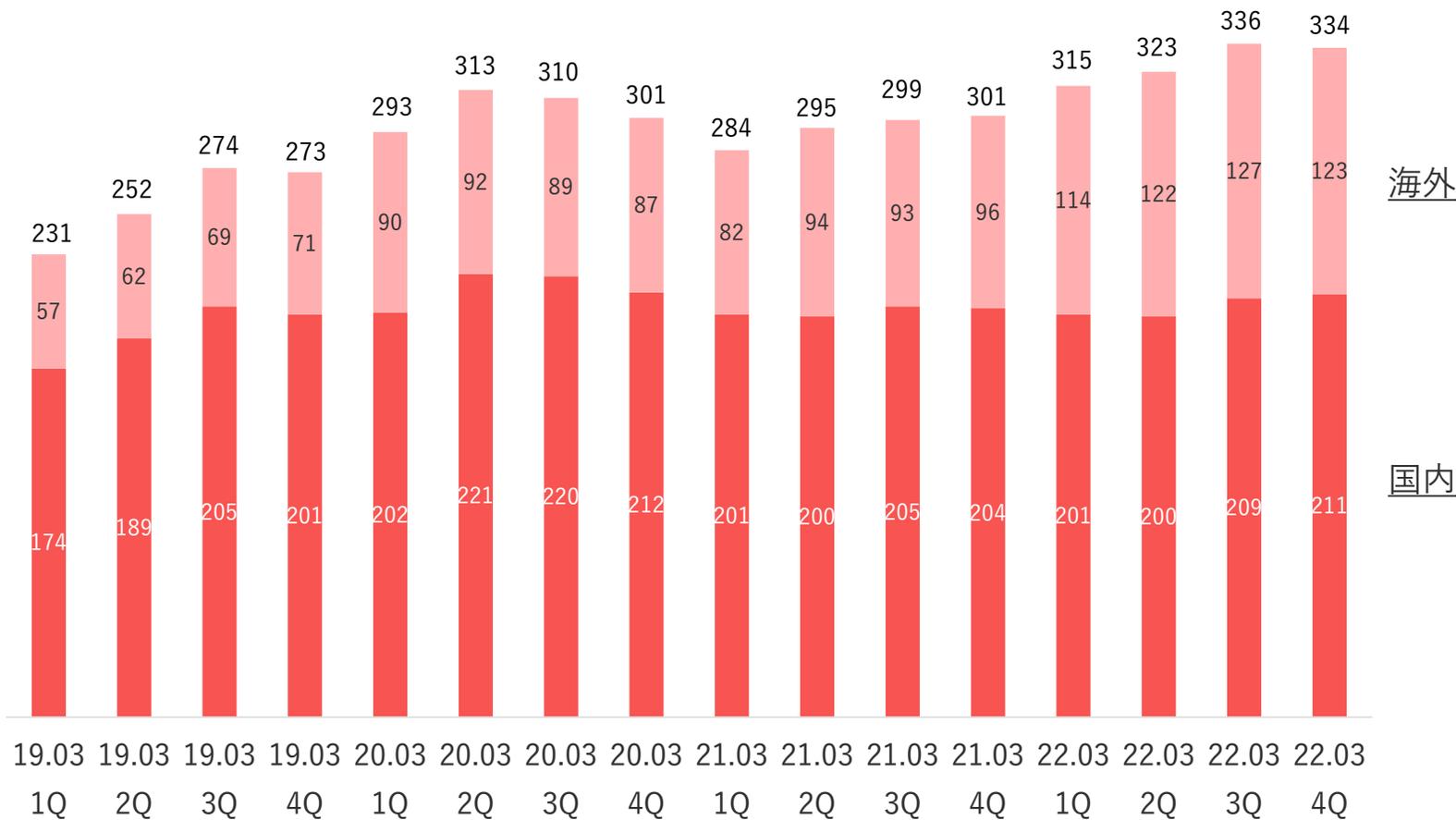
売上収益は、海外WORK事業が牽引し、2桁増収。

営業利益は、前期の一過性利益9.5億円が剥落、Perm SHIFT推進にむけた戦略投資領域（建設、介護、スタートアップ人材支援）での先行投資約10億円を実施したものの、人材紹介売上が増加し、売上総利益伸長により過去最高益。

	実績	前期比
売上収益	1,310.8億円	+ 10.9% (+128.3億円)
売上総利益率	21.9%	+ 1.6pt
営業利益	54.7億円	+ 35.8% (+14.4億円)

連結売上収益の四半期推移

(億円)



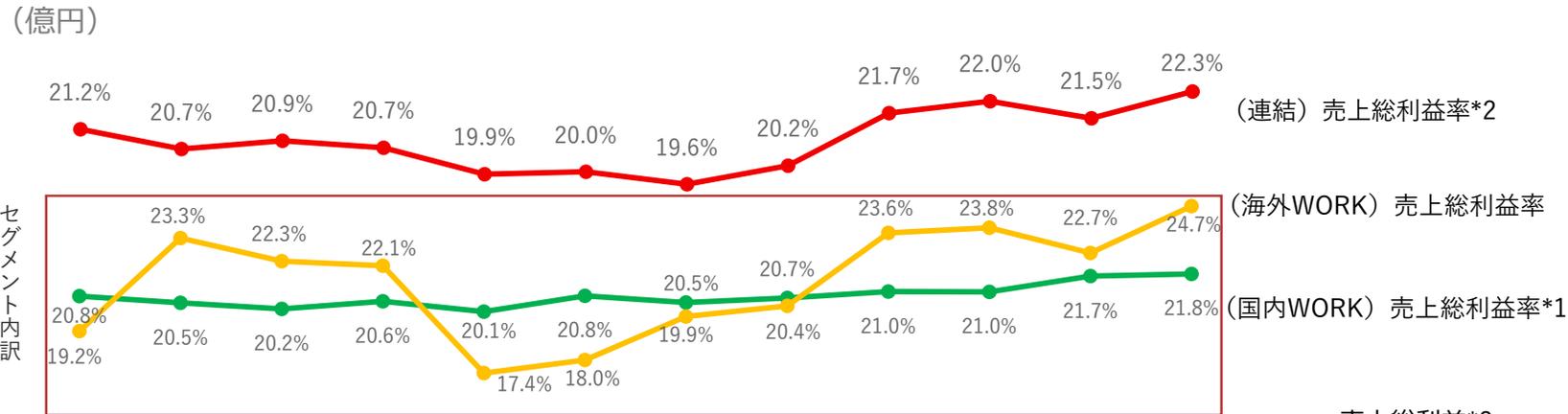
22.3期4Qは、
3Q比：▲2億円。

(うち為替影響：+0億円)

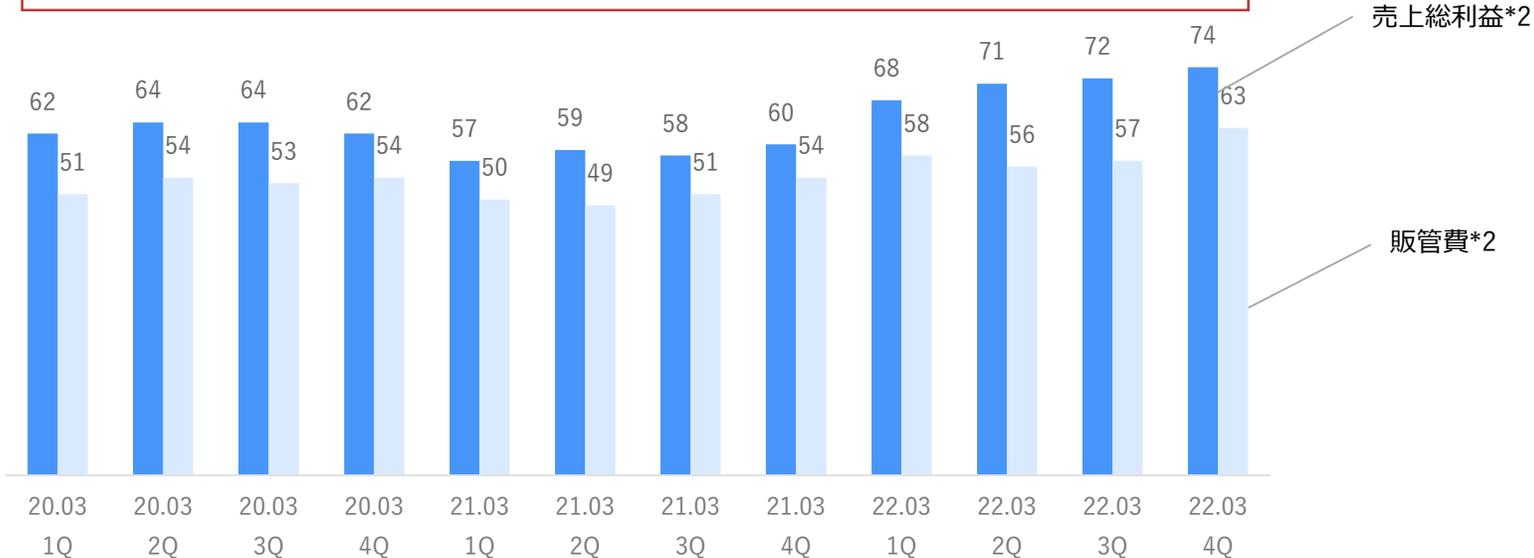
海外は、引き続き順調。
国内も回復基調で感染症拡大(2021.1Q-)以降では、
最高売上。

※売上収益は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

売上総利益率の四半期推移



セグメント内訳



Perm SHIFTにより、
4Qの連結売上総利益率は、
直近3期では、過去最高。

先行投資は、
4Q計画 : 2.5億円
4Q実績 : 2.5億円

4Q累計計画 : 10.1億円
4Q累計実績 : 10.1億円

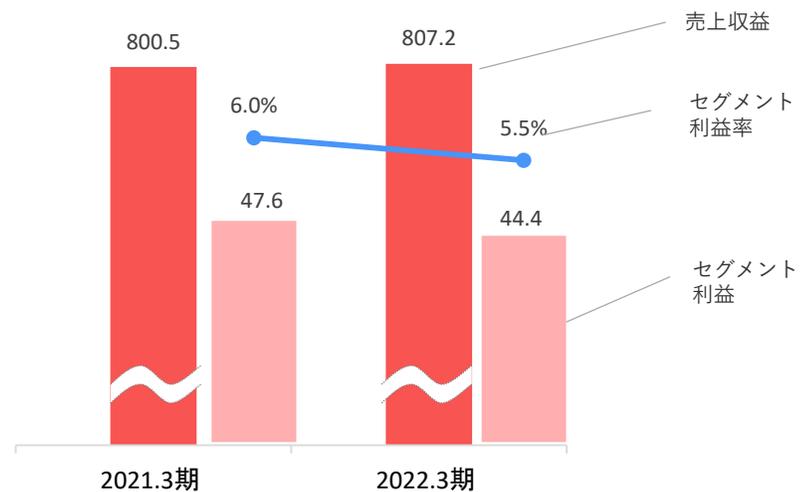
*1 セグメント内の連結調整は含んでいません。また、20.03期は従来の会計方針での数値です。

*2 売上総利益、販管費は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

セグメント業績概要

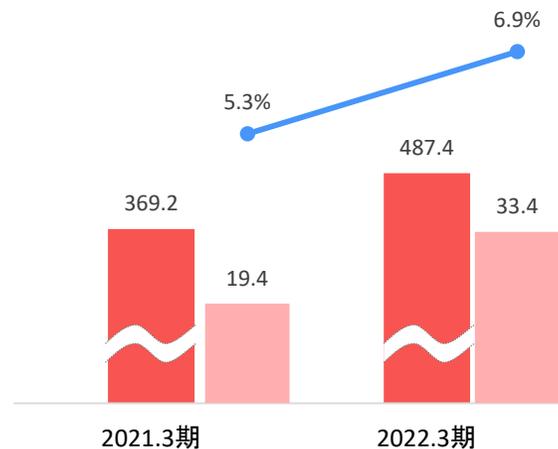
(億円)

国内WORK事業



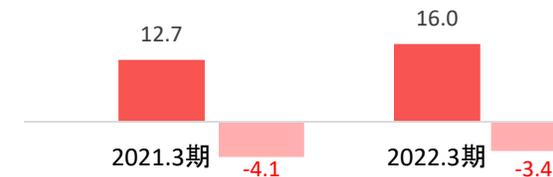
- ・ 4Qの稼働スタッフ数は、2022.3期3Q比で全領域増加。
- ・ 介護の人材紹介、建設技術者、スタートアップ人材支援領域への先行投資（10.1億円）実施。

海外WORK事業



- ・ 豪州、シンガポールとも新型コロナウイルス感染症拡大により、規制強化の措置があったものの、景気は回復に向かっていることから、人材需要は堅調に推移し、人材紹介売上が大幅に増加。

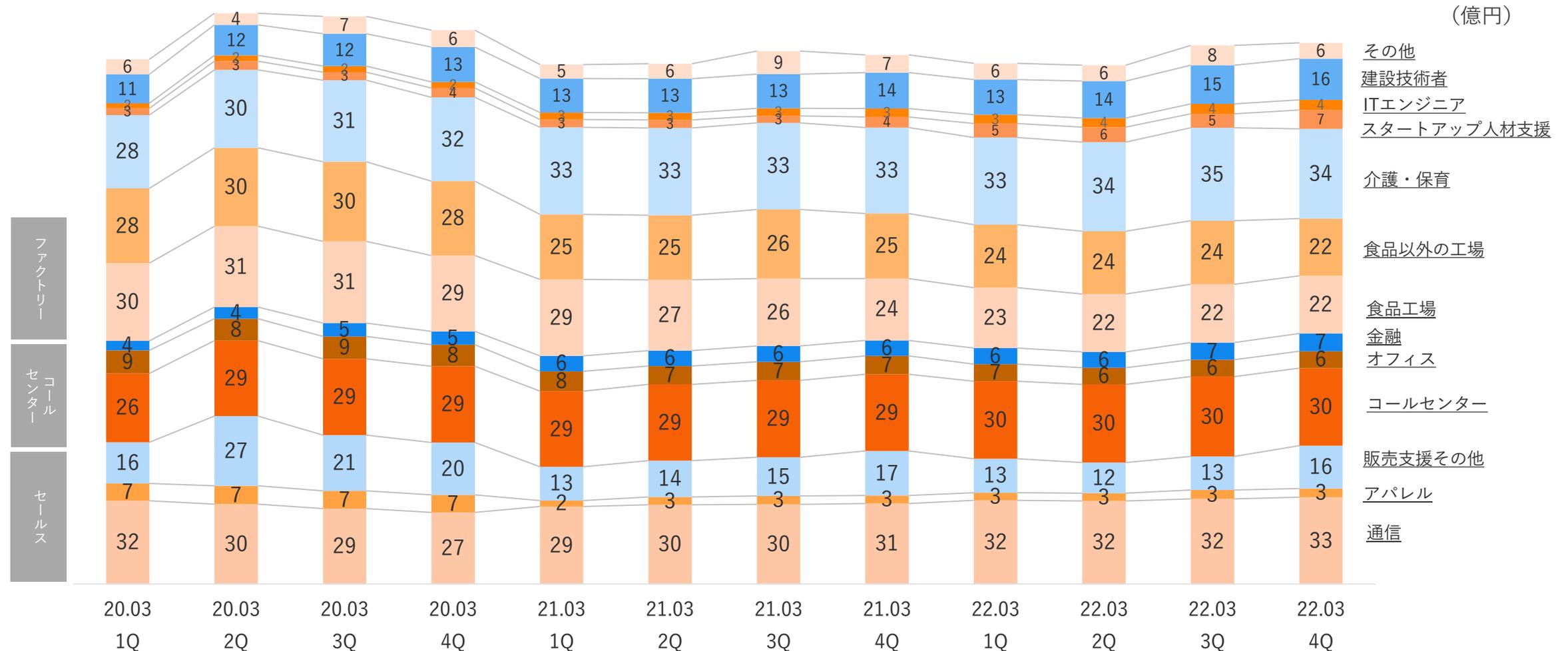
その他



- ・ 探索領域（インバウンドサービス）への先行投資を継続実施。

国内WORK事業（分野別売上の内訳）

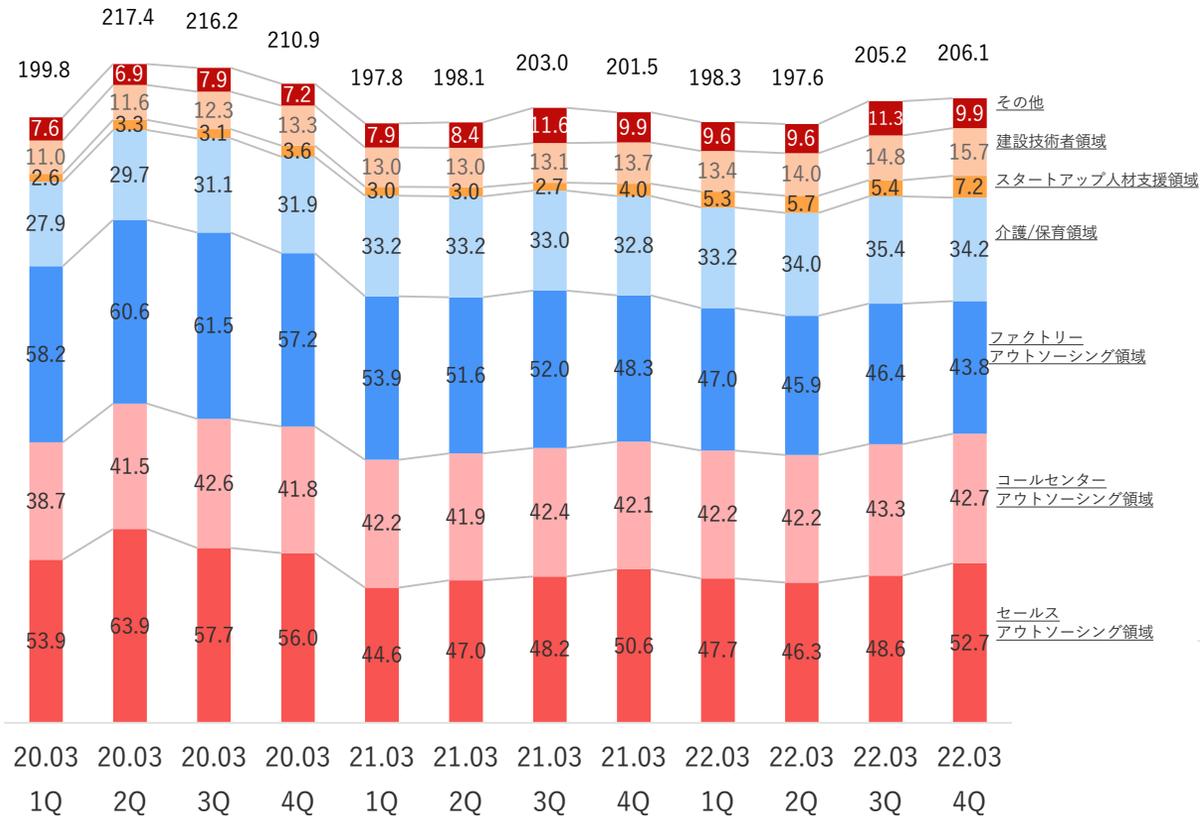
通信分野、コールセンター、介護・保育領域、スタートアップ人材支援領域が堅調に推移。



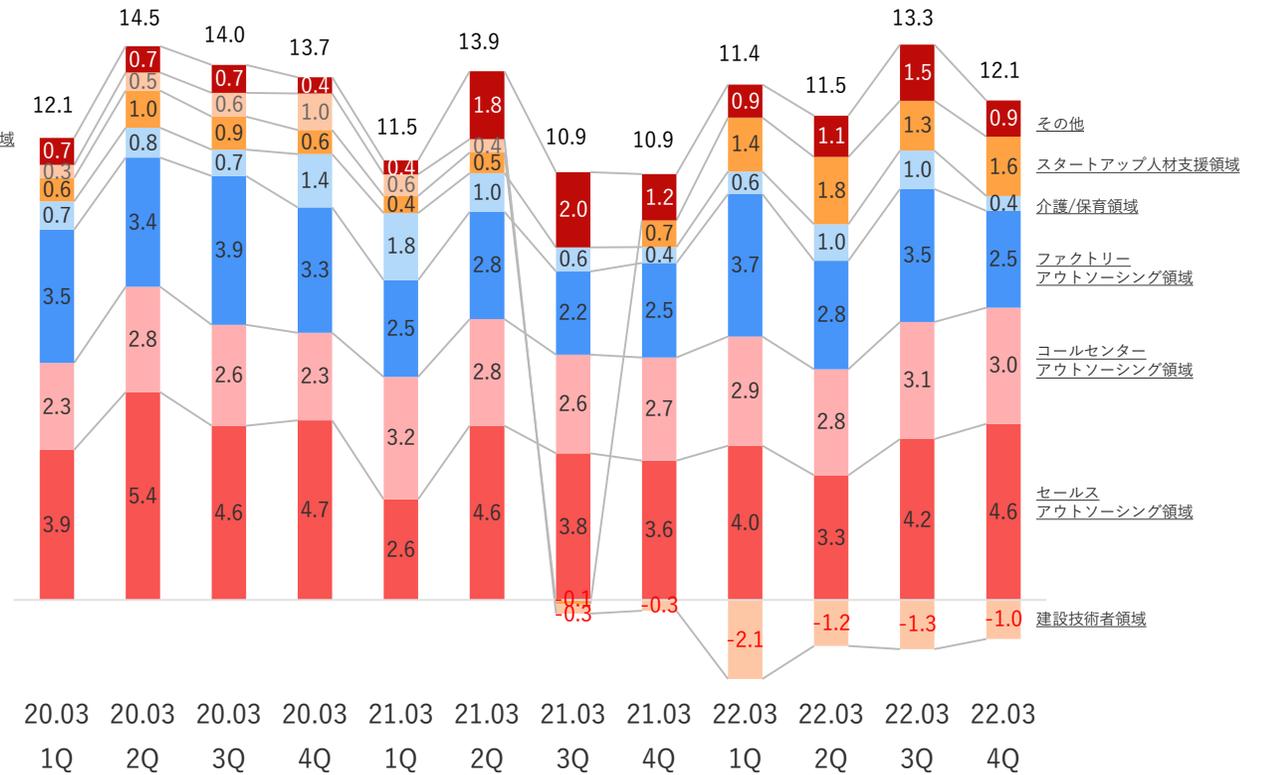
国内WORK事業（領域別売上高、営業利益）

建設技術者領域は、当年度は先行投資（人員増強、採用費投下）期間。

-領域別売上高（億円）-



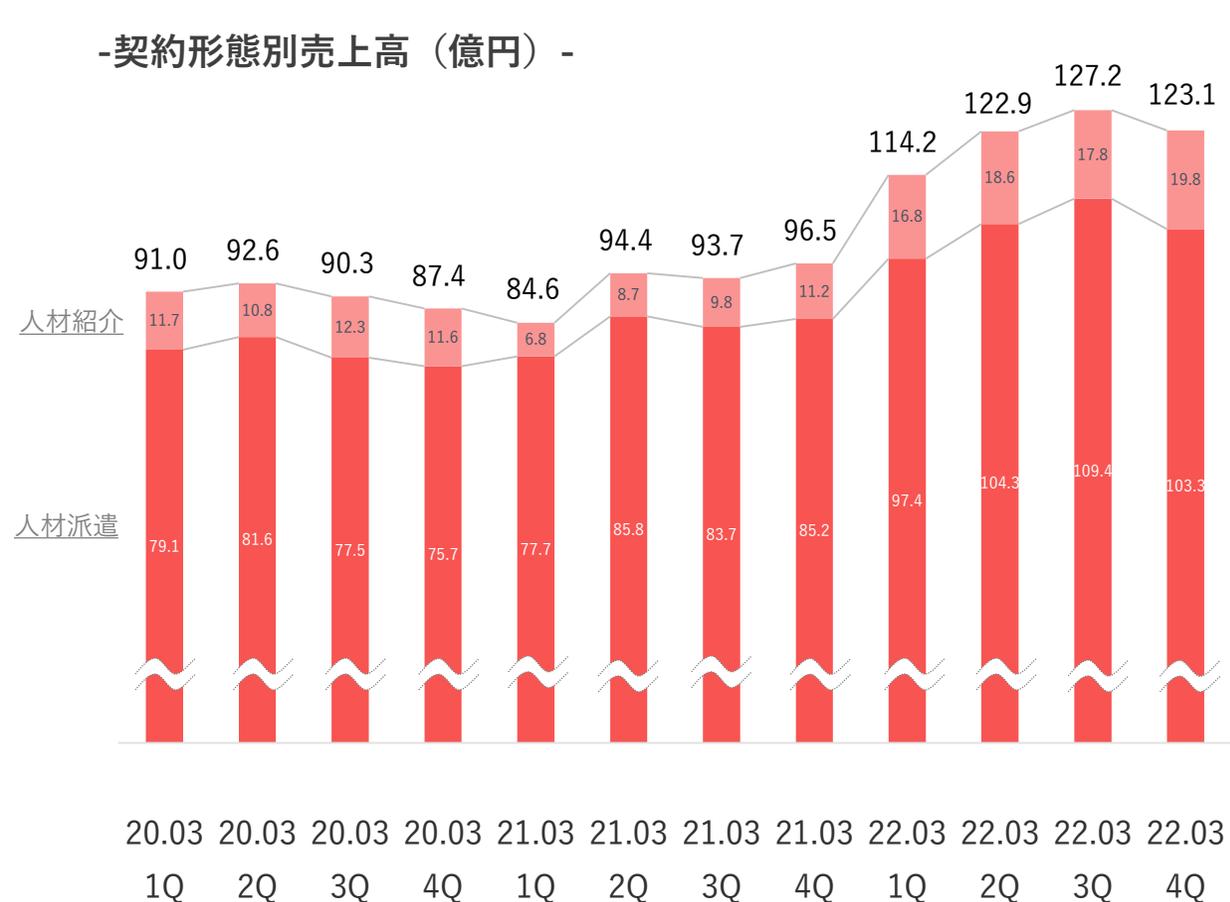
-領域別営業利益（億円）-



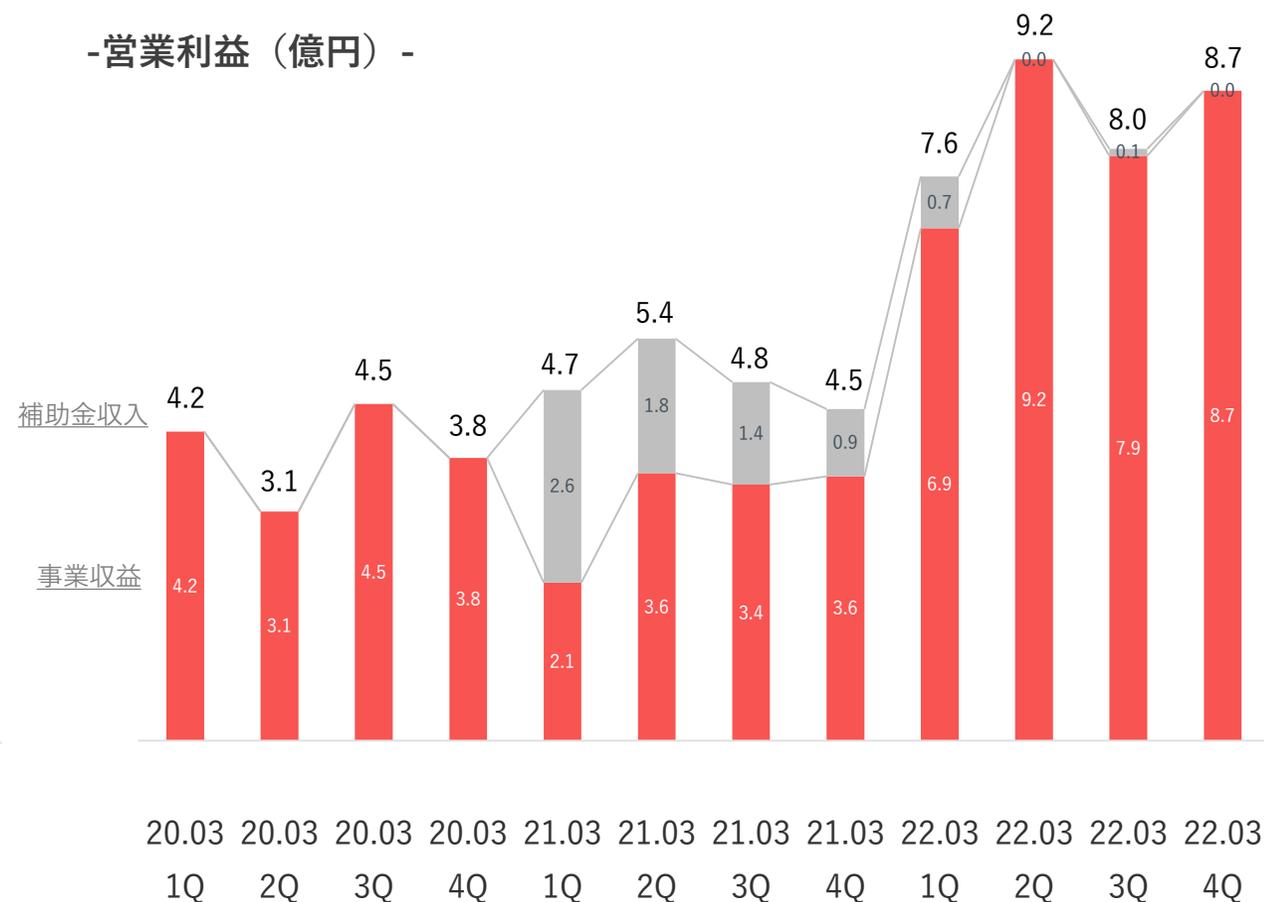
海外WORK事業（契約形態別売上高、営業利益推移）

人材紹介売上は、持続して高い成長。感染症拡大前の2020年3月期と比較してもベースは着実にUP。

-契約形態別売上高（億円）-



-営業利益（億円）-



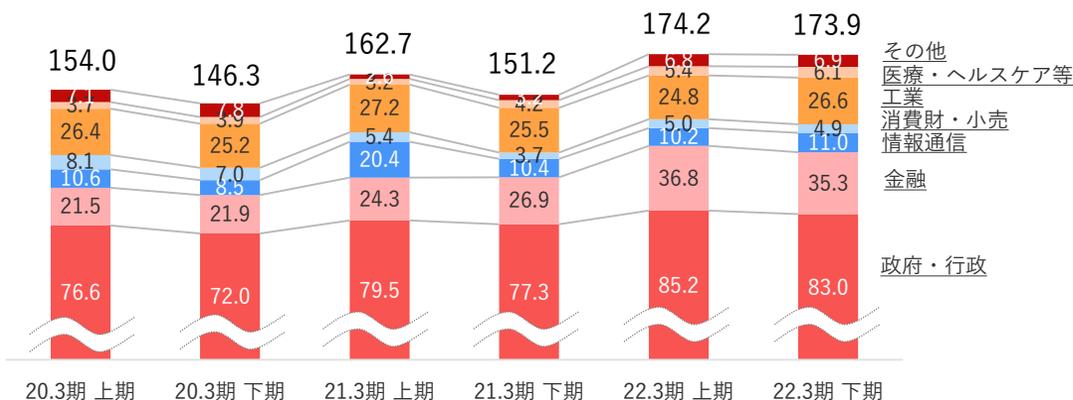
(参考) 海外WORK事業 (分野別売上の内訳)

オーストラリア、シンガポールとも人材派遣は、政府・行政を中心に安定して推移。
人材紹介は、すべての分野で前年度を大きく上回る。

(億円)

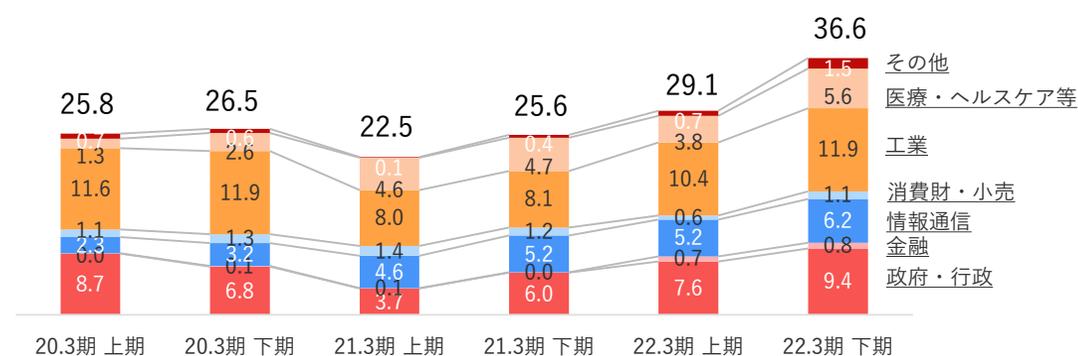
■オーストラリア

・人材派遣

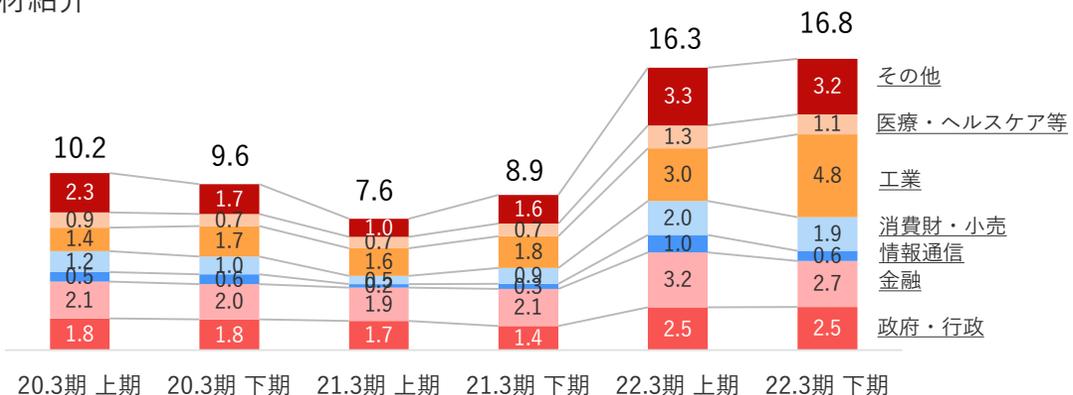


■シンガポール

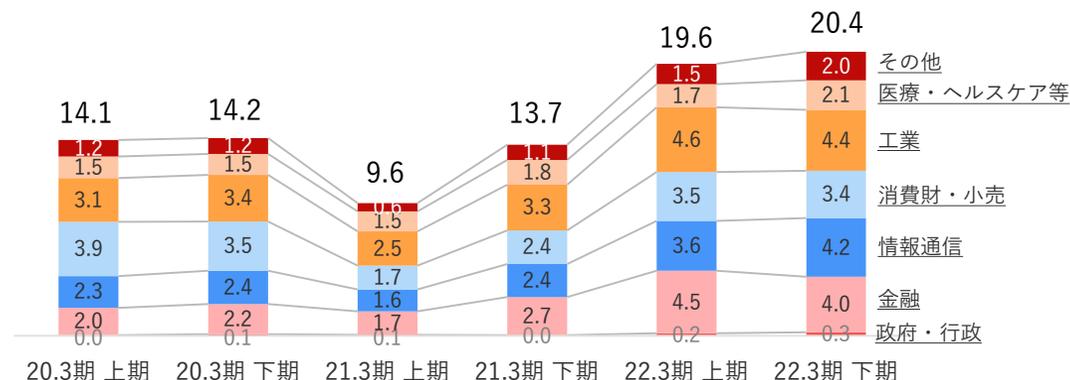
・人材派遣



・人材紹介



・人材紹介



1シンガポールドル=83円、1オーストラリアドル=83円で換算しています。

2022年3月期 連結実績

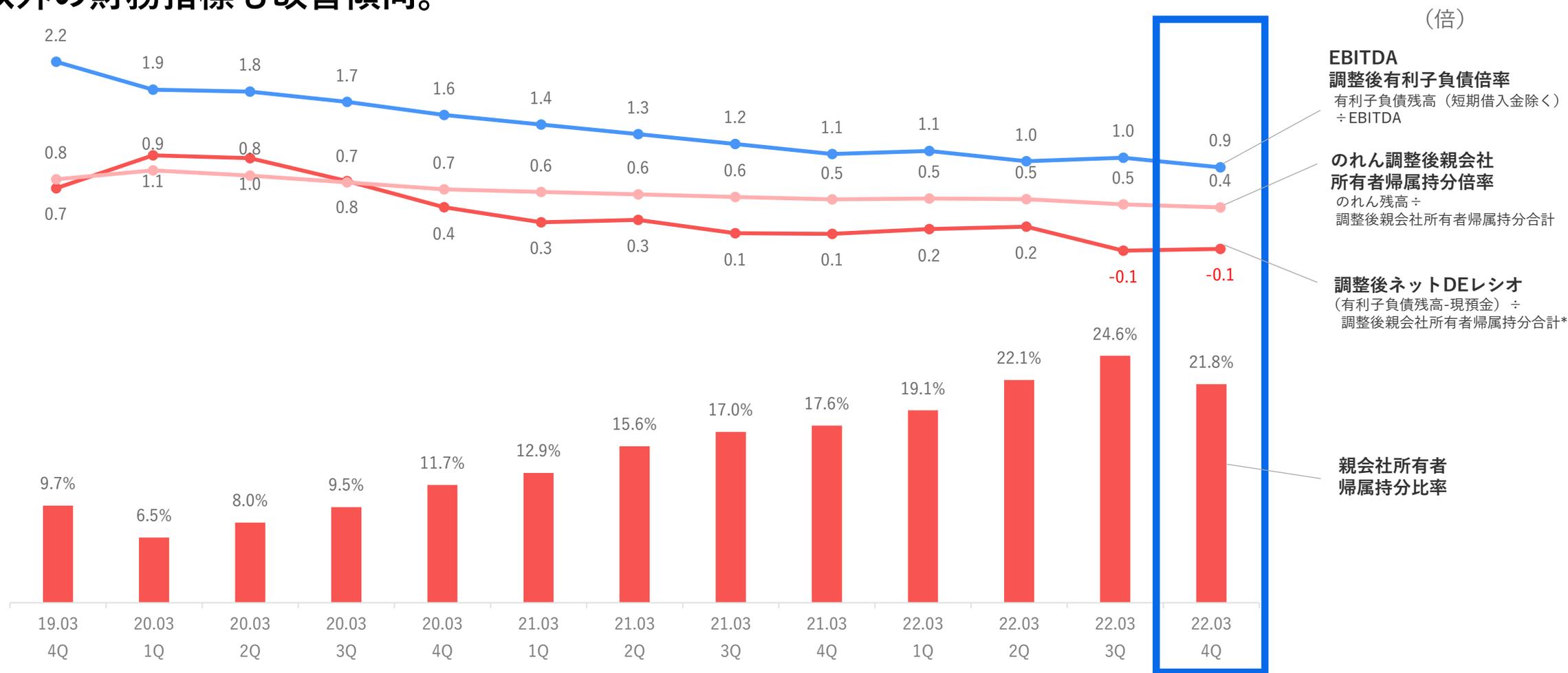
前期の政府補助金収入等の一過性影響（9.5億円）剥落するも、海外WORK事業の人材紹介が好調に推移。結果、中期経営計画経営目標の営業利益（中計目標：53.5億円）、営業利益率（中計目標：4.0%）をクリア。

(億円)	前期 実績	業績予想 (2022年2月8日 公表値)	実績	前期比		業績予想比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上収益	1,182.4	1,300.0	1,310.8	+128.3	+10.9%	+10.8	+0.8%
売上総利益 (売上総利益率)	240.5 (20.3%)	283.9 (21.8%)	287.6 (21.9%)	+47.0 (+1.6pt)	+19.6%	+3.7 (+0.1pt)	+1.3%
営業利益 (営業利益率)	40.3 (3.4%)	50.0 (3.8%)	54.7 (4.2%)	+14.4 (+0.8pt)	+35.8%	+4.7 (+0.3pt)	+9.4%
税引前利益	37.8	50.0	52.9	+15.0	+39.7%	+2.9	+5.9%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	23.6	29.8	32.8	+9.2	+39.0%	+3.0	+10.3%
EBITDA (営業利益+減価償却費及び償却費)	62.5	70.2	75.5	+12.9	+20.7%	+5.3	+7.6%

従業員数：5,363人
(前年度末比：+518人)

財務指標

親会社所有者帰属持分比率は、4Qで21.8%。中期経営計画目標：20%を上回って進捗。
それ以外の財務指標も改善傾向。



II.2023年3月期 業績予想、配当予想

2023年3月期 連結業績予想

売上収益、営業利益とも中期経営計画経営目標値を上回り、過去最高の更新を目指す。

■中期経営計画公表時

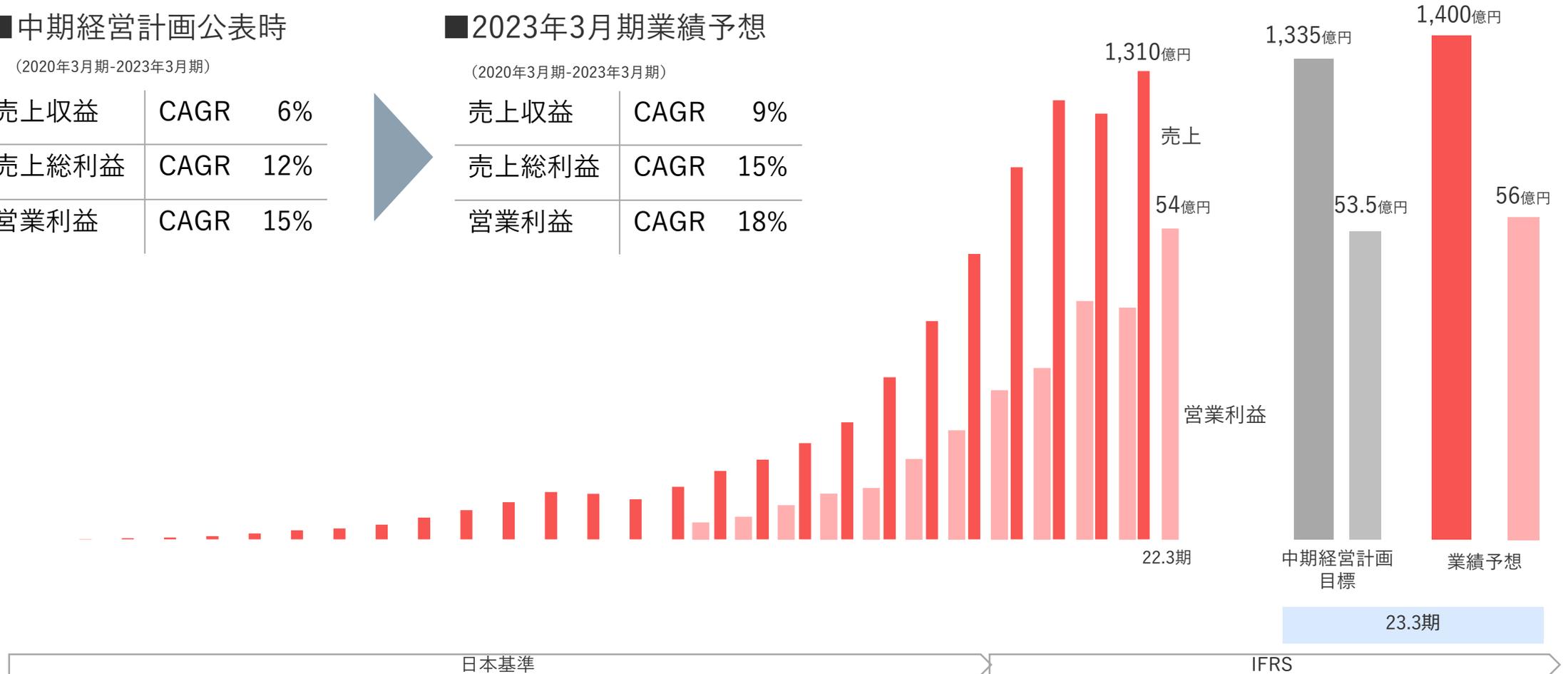
(2020年3月期-2023年3月期)

売上収益	CAGR	6%
売上総利益	CAGR	12%
営業利益	CAGR	15%

■2023年3月期業績予想

(2020年3月期-2023年3月期)

売上収益	CAGR	9%
売上総利益	CAGR	15%
営業利益	CAGR	18%



2023年3月期 通期連結業績予想

売上収益、売上総利益、営業利益の全てで中期経営計画の経営目標を上回る見通し。

(億円)	2022.3月期	2023.3月期 (中計目標)	2023.3月期 (業績予想)	前期比		中計目標比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上収益	1,310.8	1,335.0	1,400.0	+89.2	+6.8%	+65.0	+4.9%
うち国内WORK事業	807.2	949.8	889.8	+82.6	+10.2%	△59.9	△6.3%
うち海外WORK事業	487.4	361.1	490.3	+2.8	+0.6%	+129.1	+35.8%
うちその他	16.0	24.0	19.8	+3.7	+23.2%	△4.2	△17.6%
売上総利益	287.6	301.6	315.8	+28.1	+9.8%	+14.2	+4.7%
(売上総利益率)	21.9%	22.6%	22.6%	+0.6pt	-	0.0pt	-
営業利益	54.7	53.5	56.0	+1.2	+2.3%	+2.5	+4.7%
(営業利益率)	4.2%	4.0%	4.0%	△0.2pt	-	0.0pt	△0.2%
うち国内WORK事業	44.4	60.8	56.9	+12.4	+28.1%	△3.8	△6.3%
うち海外WORK事業	33.4	16.4	25.8	△7.6	△22.8%	+9.4	+57.9%
うちその他	△3.4	△0.0	△1.9	+1.4	-	△1.9	-
うち調整額	△19.8	△23.7	△24.8	△5.0	-	△1.2	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	32.8	29.0	33.3	+0.4	+1.3%	+4.3	+14.8%
EBITDA	75.5	71.8	76.7	+1.1	+1.5%	+4.9	+6.8%
為替レート	前期実績	2023.3月期 (中計目標)	2023.3月期 (業績予想)	1円変動による影響額/年			
				売上収益		利益	
オーストラリアドル	83円	68円	78円	4.6億円		0.3億円	
シンガポールドル	83円	72円	79円	1.1億円		0.1億円	

2023年3月期 第2四半期累計期間連結業績予想

第2四半期累計期間では、国内WORK事業での先行投資増加、海外WORK事業の人材紹介需要が落ち着く見通し。

(億円)	2022.3月期	2023.3月期 (業績予想)	前期比	
			増減	増減率
売上収益	639.1	670.0	+ 30.8	+ 4.8%
うち国内WORK事業	395.9	426.6	+ 30.7	+ 7.8%
うち海外WORK事業	237.0	234.2	△2.8	△1.2%
うちその他	6.0	9.1	+ 3.0	+ 49.5%
売上総利益	140.3	149.3	+ 8.9	+ 6.4%
(売上総利益率)	22.0%	22.3%	+ 0.3pt	-
営業利益	26.8	22.5	△4.3	△16.2%
(営業利益率)	4.2%	3.4%	△0.8pt	-
うち国内WORK事業	21.6	23.9	+ 2.3	+ 10.6%
うち海外WORK事業	16.7	11.8	△4.9	△29.5%
うちその他	△2.0	△1.0	+ 1.0	-
うち調整額	△9.4	△12.2	△2.7	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	16.9	12.5	△4.4	△26.4%
EBITDA	36.5	32.7	△3.7	△10.3%
為替レート	前期実績	2023.3月期 (業績予想)	1円変動による影響額/年	
			売上収益	利益
オーストラリアドル	83円	78円	4.6億円	0.3億円
シンガポールドル	82円	79円	1.1億円	0.1億円

2023年3月期業績予想（セグメント別、領域別）

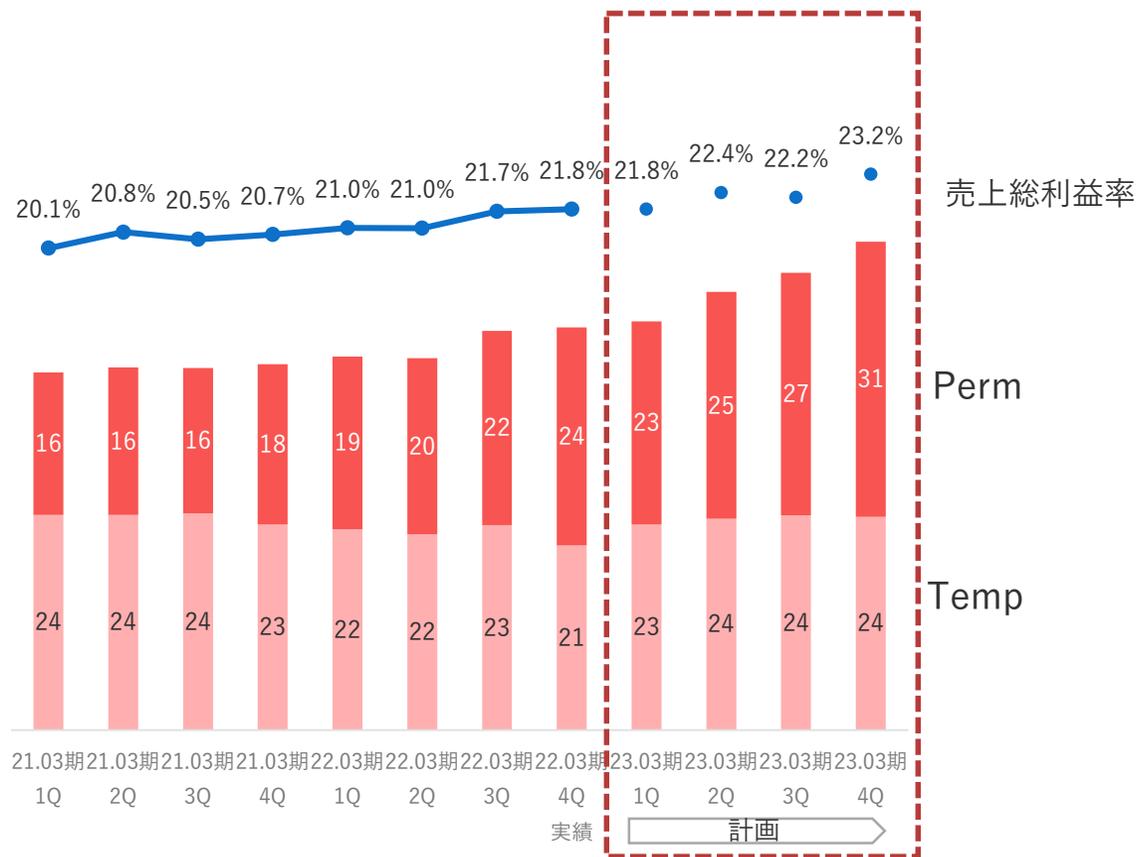
(億円)

セグメント	領域		2022.3月期 (実績)	2023.3月期 (業績予想)	前期比増減	
国内WORK 事業	セールス アウトソーシング領域	売上	195.1	206.6	+11.4	アパレル、営業支援領域の拡大。
		営業利益	16.1	18.7	+2.6	現場正社員数増加により、外注費削減により売上総利益率向上。
	コールセンター アウトソーシング領域	売上	170.4	184.2	+13.8	アウトソーシング需要の増加により、業務受託の増加。
		営業利益	11.7	13.0	+1.3	業務受託比率増加により売上総利益率向上。
	ファクトリー アウトソーシング領域	売上	183.1	191.1	+8.0	人材派遣、入国再開による外国人の人材紹介、外国人管理受託人数の増加。
		営業利益	12.5	14.5	+1.9	人材紹介売上、管理受託収入の増加。
	介護ビジネス支援領域	売上	136.7	147.6	+10.9	注力している紹介予定派遣、人材紹介の増加。
		営業利益	2.9	7.1	+4.1	人材紹介売上の増加。
	スタートアップ 人材支援領域	売上	23.4	28.0	+4.5	求人案件数は高水準で推移し、安定的に成長。
		営業利益	6.0	5.7	△0.3	求人案件数の状況に鑑み、コンサルタント採用等の先行費用増加。
	建設技術者領域	売上	57.8	83.0	+25.1	新卒、未経験者採用数の増加による稼働人員数の増加。
		営業利益	△5.5	△4.3	+1.2	採用費及び営業人員等の先行費用増加するも、売上総利益が増加。
海外WORK 事業	売上	487.4	490.3	+2.8	前期と比較して人材紹介需要は、落ち着く見通し。	
	営業利益	33.4	25.8	△7.6	人材紹介売上の減少、採用費・人件費の増加。	

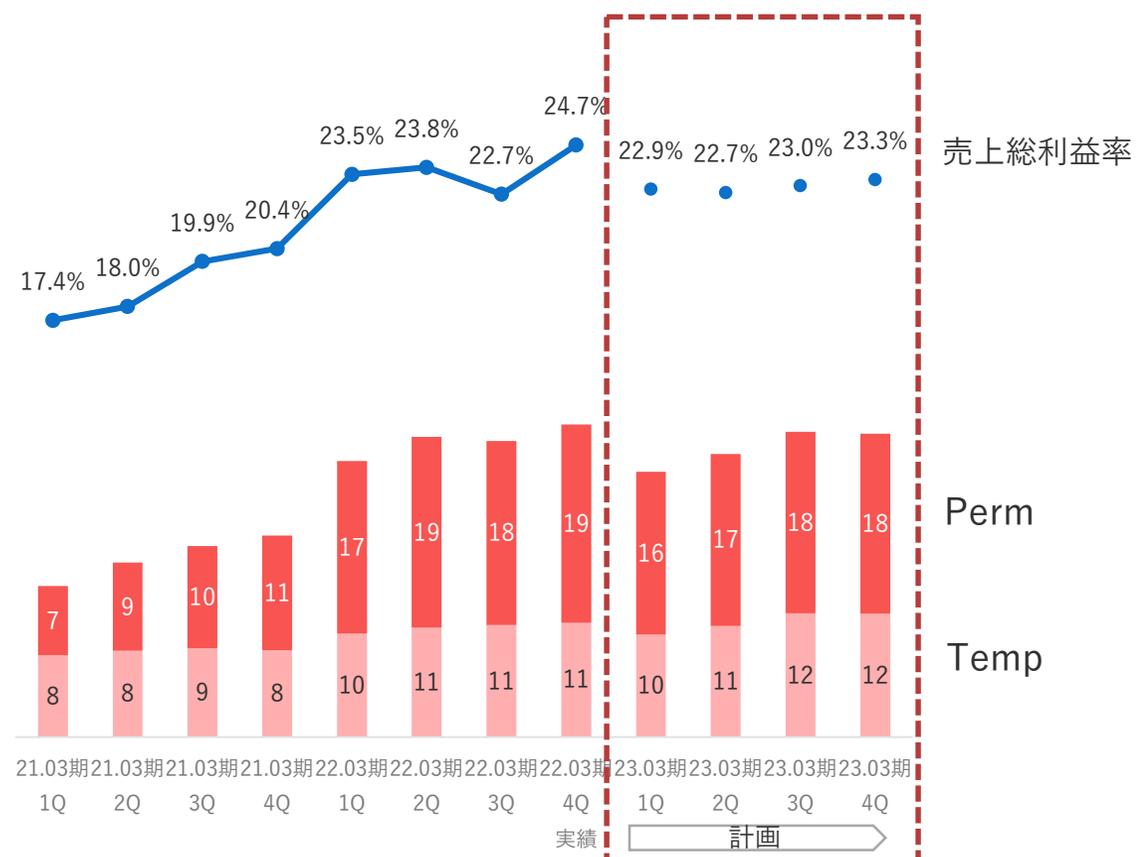
(国内・海外) ポートフォリオシフト計画

海外WORK事業は、前期と比較して人材紹介需要が落ち着く見通し。国内WORK事業は、全領域で改善見通し。よって、連結売上総利益率は、さらに上昇する見通し。

-国内WORK事業 Temp/Perm別売上総利益※ (億円) -



-海外WORK事業 Temp/Perm別売上総利益 (億円) -

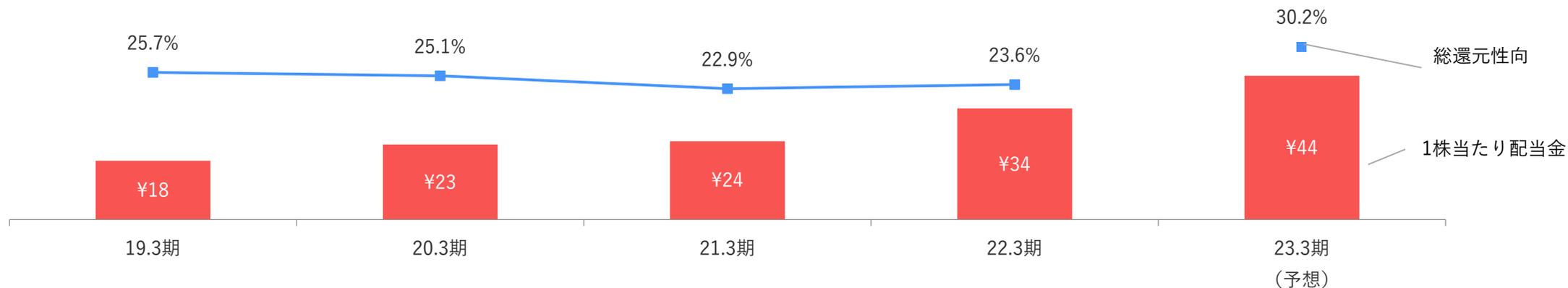


※セグメント内の連結調整は含んでいません。
売上総利益、売上総利益率は、海外の補助金収入の影響等を除いた調整後の数値です。

2023年3月期配当予想は、期首業績予想に対する総還元性向:30%。

	2022.3月期	2023.3月期 配当予想
期末配当	34円/株	44円/株
総還元性向	23.6%	30.2%

■1株当たり配当金、総還元性向の推移





III.中期経営計画（WILL-being 2023） 重点戦略の進捗

中期経営計画（WILL-being 2023）進捗サマリ

進捗が遅れている部分については、今期で取り戻し、重点戦略の全項目達成を目指す。

重点戦略		内容	2022年3月期での進捗	
戦略Ⅰ	ポートフォリオシフトによる収益性の改善 (国内WORK事業・海外WORK事業) 利益最大化領域、戦略投資領域	<ul style="list-style-type: none"> Perm（人材紹介、専門性の高い領域への人材派遣）領域を拡大。特に、介護、建設技術者、スタートアップ人材支援領域にフォーカス。 (指標) <ul style="list-style-type: none"> 戦略投資領域 = 売上成長率 利益最大化領域 = 営業利益率 	△	(戦略投資領域) <ul style="list-style-type: none"> 建設：△（未経験中途採用は、当初の想定より遅れている。） 介護：△（紹介予定派遣は、当初の想定より遅れている。） スタートアップ人材支援：○（好調に推移。）
			○	(利益最大化領域) <ul style="list-style-type: none"> 国内W：○（経済条件見直し等により、売上総利益率が改善し、営業利益率が改善。） 海外W：○（リバウンド需要もあったが、ベースは着実にUP。）
戦略Ⅱ	デジタルシフトによる生産性の改善 (国内WORK事業・海外WORK事業) 利益最大化領域	<ul style="list-style-type: none"> デジタルシフトにより、1人当たり生産性を高める。 	△	<ul style="list-style-type: none"> WILLOFスマホアプリの機能の強化（申請のオンライン化等）を継続実施。 2021年7月1日付で、主要子会社の合併を行い、営業拠点、管理業務を集約。
戦略Ⅲ	次なる戦略投資領域の探索 探索領域	<ul style="list-style-type: none"> 在日外国人向けサービスの拡大。 IT人材サービスの拡大。 HRTechは、主軸事業周辺領域での展開を探索。 	△	<ul style="list-style-type: none"> 在日外国人向けサービスは、入国制限が続き当初の想定を下回る。 IT人材サービスは、派遣・紹介とも着実に増加。 建設技術者領域でのサービス等、プロダクト開発中。
戦略Ⅳ	財務戦略 グループ全体	<ul style="list-style-type: none"> 親会社所有者帰属持分比率：20%以上 ROIC：20%以上（資本コストは10%程度） 総還元性向：30%以上 	○	<ul style="list-style-type: none"> 親会社所有者帰属持分比率は、2022年3月末時点で21.8%。 ROICは、営業利益率向上により上昇。 22.3期の総還元性向：23.6%（期首業績予想ベースは、42.2%）

中期経営計画経営目標と2023年3月期業績予想の比較

2023年3月期は、中期経営計画の通り先行投資は、13億円実施予定。財務目標については、現時点でROICを除いて、中期経営計画目標を達成見通し。ROICは、投下資本の見直し等により達成を目指す。

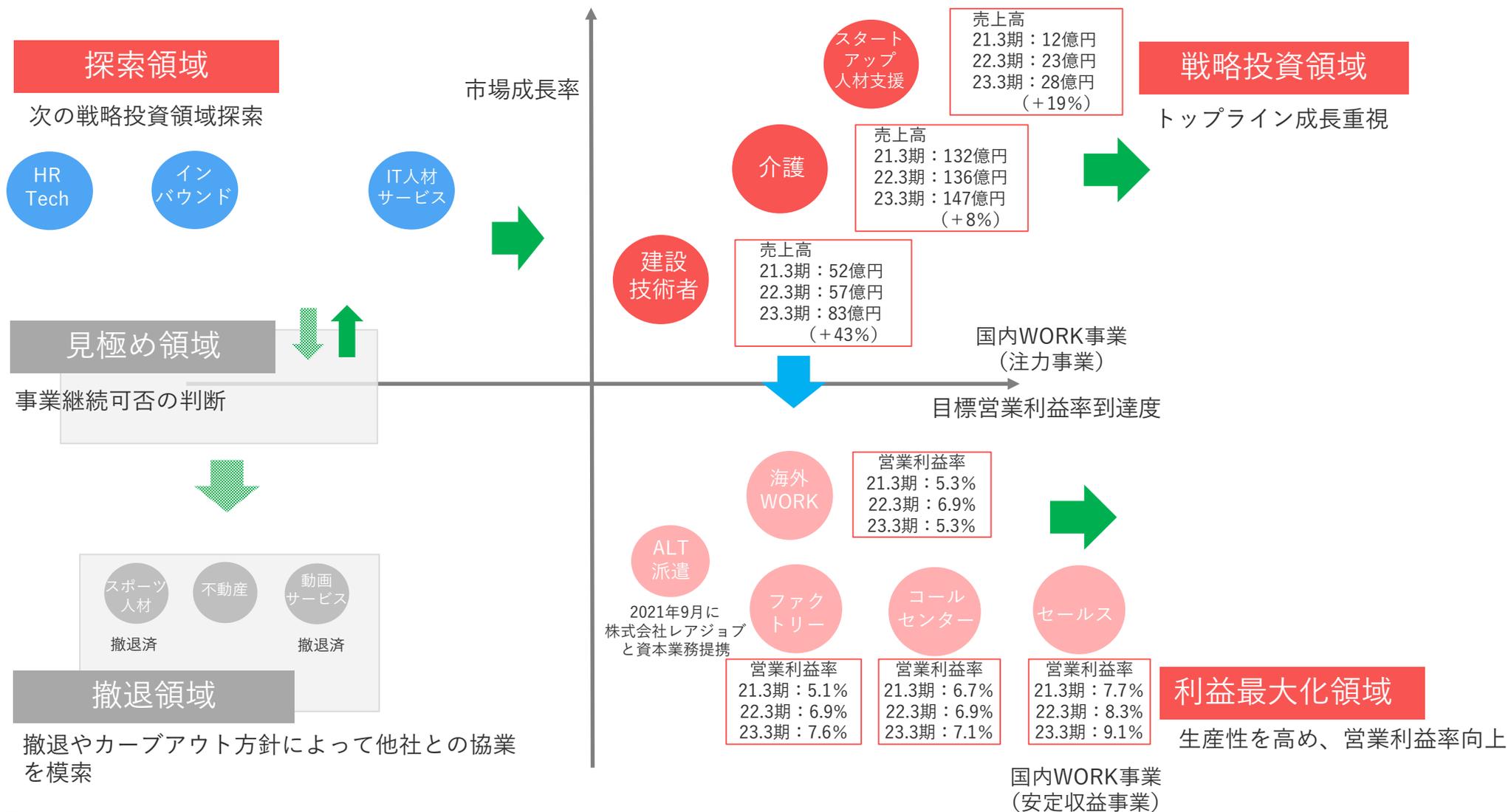
KPI	2020.3月期	2021.3月期	2022.3月期		2023.3月期	
			(中期経営計画)	(実績)	(中期経営計画)	(業績予想)
売上収益 (前期比)	1,219億円 (+18%)	1,182億円 (△3%)	1,210億円 (+2%)	1,310億円 (+11%)	1,335億円 (+10%)	1,400億円 (+7%)
売上総利益率	20.8%	20.3%	21.2%	21.9%	22.6%	22.6%
販管費 (うち先行投資費用)	214億円	204億円	222億円 (13億円)	235億円 (10億円)	248億円 (13億円)	259億円 (13億円)
営業利益 (営業利益率)	41.4億円 (3.4%)	40.3億円 (3.4%)	34.0億円 (2.8%)	54.7億円 (4.2%)	53.5億円 (4.0%)	56.0億円 (4.0%)
ROIC	14%	14%	12%	17.9%	20%	18.6%
親会社所有者帰属持分比率	11.7%	17.7%	19%	21.8%	22%	24.8%
総還元性向	25.1%	22.9%	30.6%	23.6%	30.0%	30.2%

収益性指標

財務指標

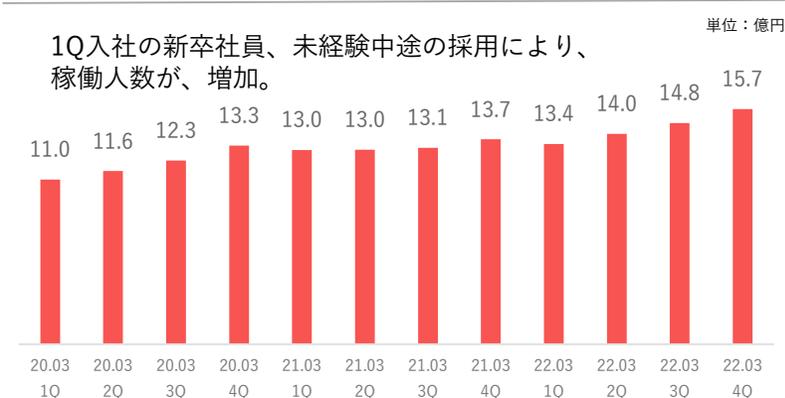
中期経営計画における事業ポートフォリオ

進捗遅れが一部あるものの、概ね順調に進捗。

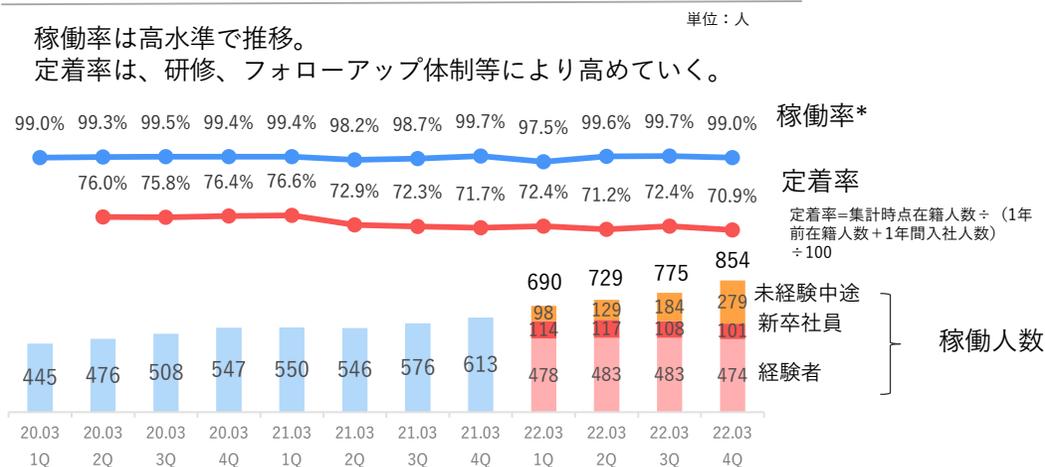


未経験中途の採用数が増加し、稼働人数が増加。2022年4月に新卒236名入社。

四半期別売上高の推移

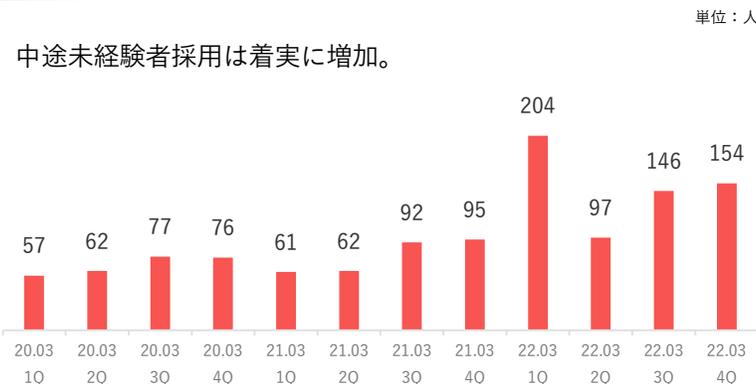


稼働人数、稼働率、定着率

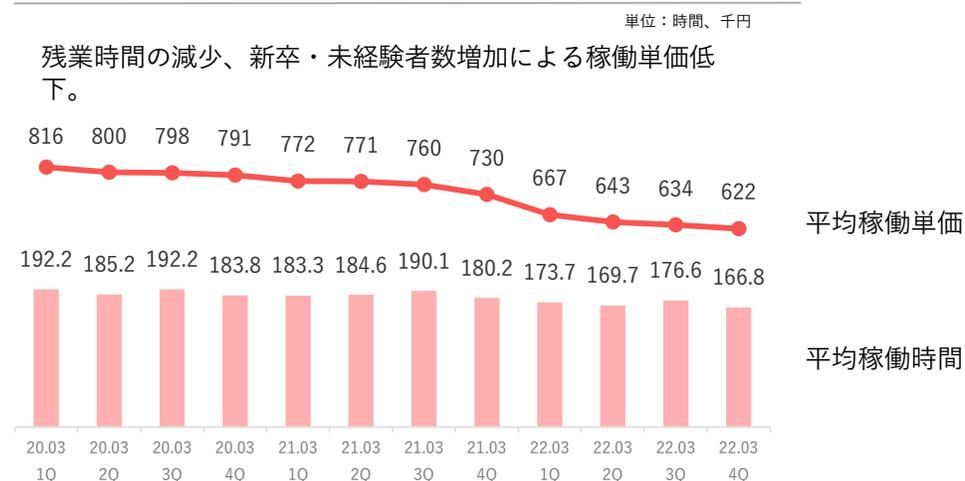


*22.03 1Qの稼働率は、新卒研修期間の影響を除外した2021年6月の稼働率です。研修期間の影響を含めた22.03 1Qでの稼働率は、90.4%になります。

採用人数

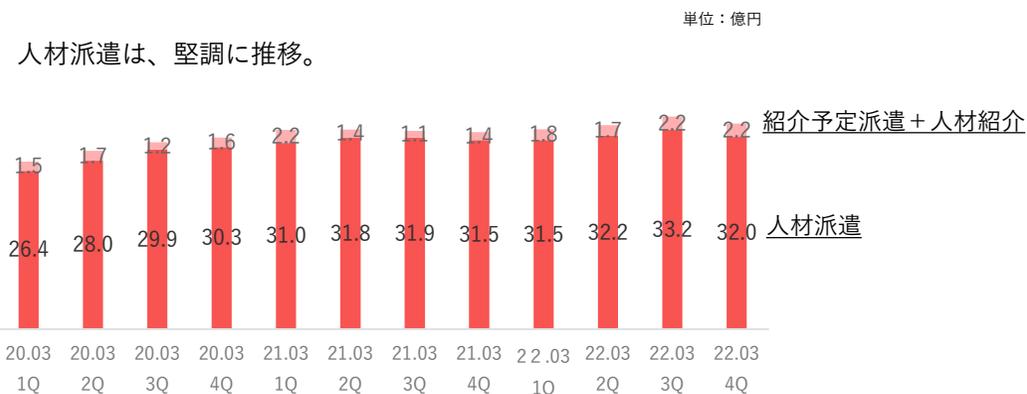


(月間) 平均稼働時間、平均稼働単価

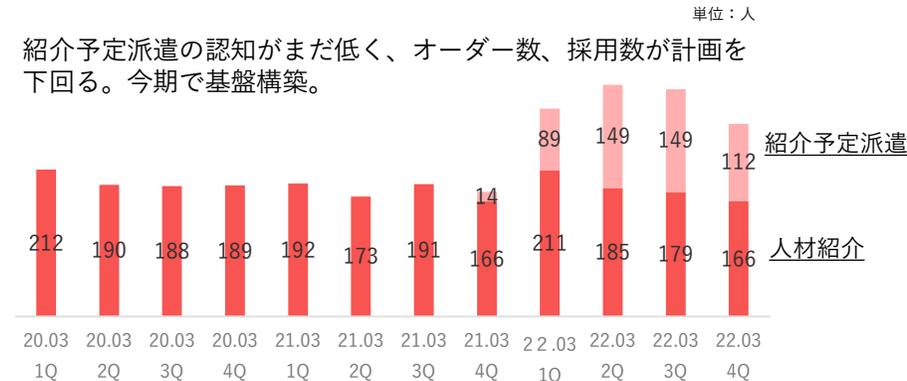


注力している紹介予定派遣が、当初の想定を下回る。
 今期は介護施設に対する営業の強化、求職者のターゲットを絞り基盤を構築する。

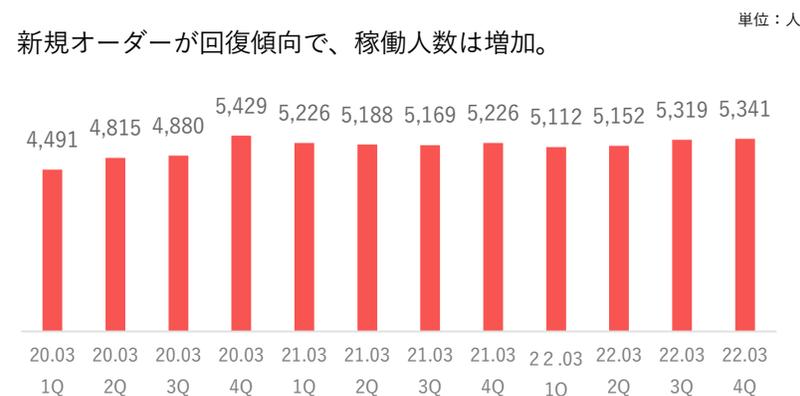
四半期別売上高の推移



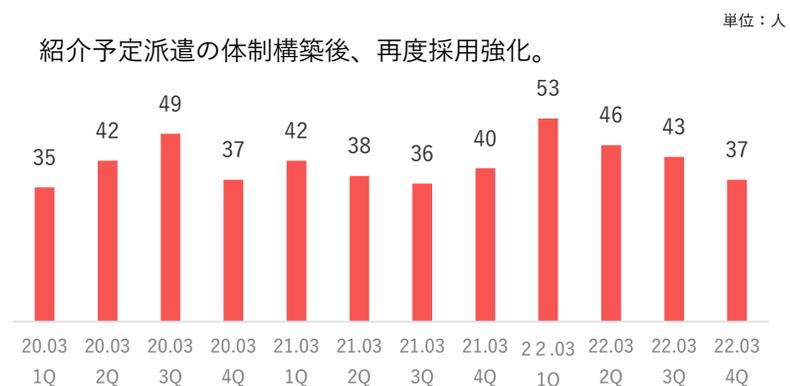
紹介予定派遣及び人材紹介成約人数



派遣稼働人員数



紹介予定派遣及び人材紹介部門社員数





本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ IRに関するお問い合わせ先

株式会社ウィルグループ 財務部IRグループ

TEL：03-6859-8880